

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約5年間（2014年1月24日～2019年1月17日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	資産成長コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
運用方法	資産成長コース	①主として、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を通じて、新興国の現地通貨建債券に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②当ファンドは、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	通貨αコース	①主として、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を通じて、新興国の現地通貨建債券への分散投資と通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②当ファンドは、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	資産成長コース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	通貨αコース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド （資産成長コース／通貨αコース）

運用報告書（全体版）

資産成長コース	第8期（決算日	2018年1月17日）
	第42期（決算日	2017年8月17日）
	第43期（決算日	2017年9月19日）
通貨αコース	第44期（決算日	2017年10月17日）
	第45期（決算日	2017年11月17日）
	第46期（決算日	2017年12月18日）
	第47期（決算日	2018年1月17日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース）」は、さる1月17日に決算を行ないました。

ここに、当作成期間中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/> <5620>
<5621>

資産成長コース

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
4期末(2016年1月18日)	9,233	10	△ 16.1	9,052	△ 17.9	1.6	95.8	2,303
5期末(2016年7月19日)	9,233	10	0.1	9,641	6.5	0.5	96.1	1,861
6期末(2017年1月17日)	9,509	10	3.1	9,993	3.7	0.0	99.7	1,523
7期末(2017年7月18日)	10,101	10	6.3	10,979	9.9	—	98.9	1,346
8期末(2018年1月17日)	10,297	10	2.0	11,398	3.8	—	99.3	1,154

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

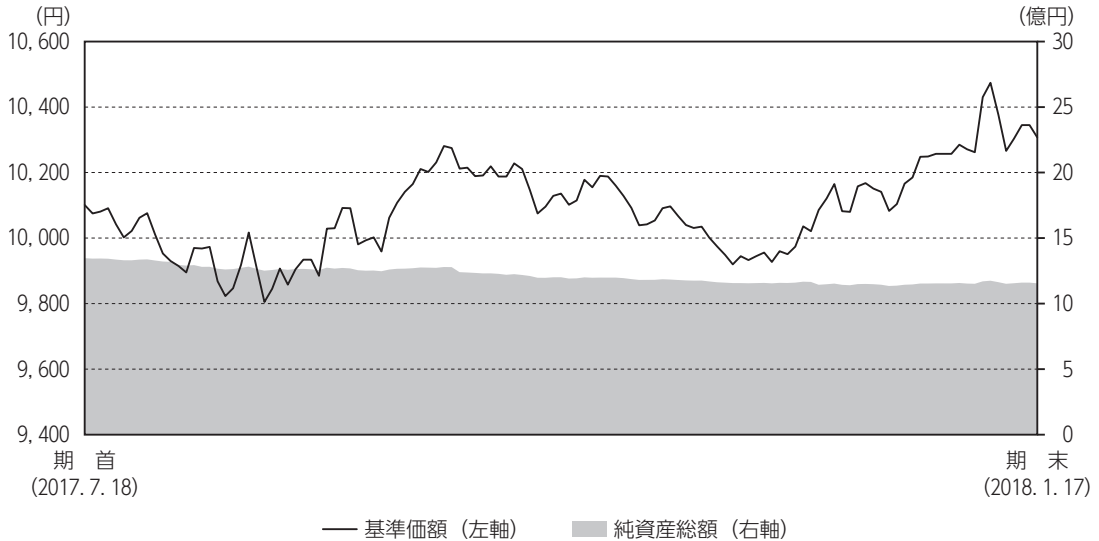
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,101円

期末：10,297円（分配金10円）

騰落率：2.0%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

債券の利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

年 月 日	基 準 価 額		J.P.モルガン GBI-EEM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首) 2017年 7月18日	10,101	—	10,979	—	—	98.9
7月末	10,011	△ 0.9	10,854	△ 1.1	0.0	98.9
8月末	10,029	△ 0.7	11,031	0.5	—	98.5
9月末	10,191	0.9	11,186	1.9	—	98.6
10月末	10,042	△ 0.6	10,979	△ 0.0	—	98.8
11月末	10,036	△ 0.6	11,040	0.6	—	99.5
12月末	10,271	1.7	11,329	3.2	—	99.8
(期末) 2018年 1月17日	10,307	2.0	11,398	3.8	—	99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 7. 19 ~ 2018. 1. 17)

■新興国債券市況

新興国債券市場では、世界経済が安定した推移となる中、相対的に金利の高い新興国債券への需要は高まったものの、個別国要因により金利動向はまちまちとなりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、欧米との関係悪化や通貨安によるインフレが懸念され、金利は上昇しました。南アフリカでは、与党ANC（アフリカ民族会議）の党首選挙で改革派のラマポーザ氏が勝利するとの期待を背景に、金利は低下しました。ロシアでは、インフレ率の鈍化を背景に利下げが実施される中、金利は低下しました。

・アジア地域

インドネシア、タイ、マレーシアでは、新興国債券への需要を背景に金利は低下しました。

・中南米地域

ブラジルでは、政策金利の引き下げが行なわれる中、金利は低下しました。メキシコでは、NAFTA（北米自由貿易協定）の再交渉を巡る不透明感から、金利は上昇しました。ペルーでは、インフレ率が低下する中で金利は低下しました。

■為替相場

投資対象通貨の対円為替相場は、個別国要因によりまちまちな展開となりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラは、欧米との関係悪化が懸念され対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、構造改革期待から対円で上昇しました。ロシア・ルーブルは、エネルギー価格の上昇などにより対円で上昇しました。

・アジア地域

マレーシア・リングgitやタイ・バーツはそれぞれ対円で上昇した一方、インドネシア・ルピアは円高の影響から下落しました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、政治を巡る混乱が下落要因となり対円で下落しました。メキシコ・ペソは、対米の通商交渉への懸念から対円で下落しました。ペルー・ソルについては、期を通して見るとほぼ横ばいでの推移となりました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」といいます。）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

(2017. 7. 19 ~ 2018. 1. 17)

■当ファンド

期を通じて「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域ではトルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ロシア・ルーブル、アジア地域ではインドネシア・ルピア、マレーシア・リングギット、タイ・バーツ、中南米地域ではブラジル・レアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルへ投資しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1.0（年）程度～3.0（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。

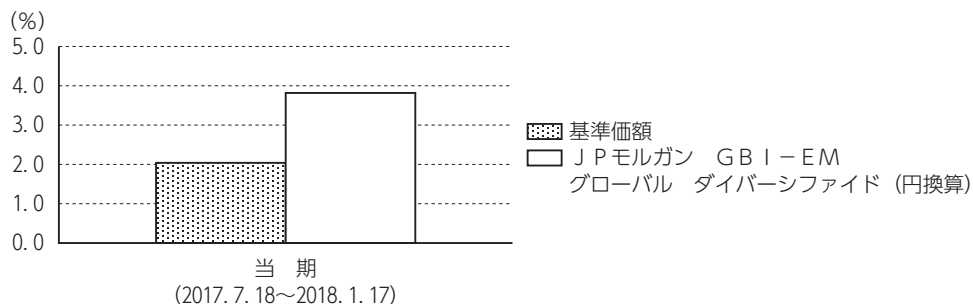
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は10円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2017年7月19日 ～2018年1月17日	
当期分配金（税込み）	（円）	10
対基準価額比率	（％）	0.10
当期の収益	（円）	10
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	2,714

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
 （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
 （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	269.96円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	44.66
(d) 分配準備積立金	2,410.14
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	2,724.78
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	2,714.78

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■ 当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 7. 19～2018. 1. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	59円	0.582%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,088円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.162)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0.406)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	59	0.586	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2017年7月19日から2018年1月17日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	469.82	39,532	2,544.768	214,900

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2017年7月19日から2018年1月17日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS (ケイマン諸島)	2,544.768	214,900	84

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2017年7月19日から2018年1月17日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	2,210	230	10.4	—	—	—
コール・ローン	8,187,115	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	121,999	—	—	122,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS	13,514.545	1,146,506	99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 33	千口 33	千円 34	千円 34

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年1月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,146,506	% 98.6
ダイワ・マネー・マザーファンド	34	0.0
コール・ローン等、その他	16,647	1.4
投資信託財産総額	1,163,188	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年1月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,166,388,460円
コール・ローン等	13,447,708
投資信託受益証券（評価額）	1,146,506,430
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	34,322
未収入金	6,400,000
(B) 負債	11,450,624
未払金	3,200,000
未払収益分配金	1,121,586
未払信託報酬	7,079,746
その他未払費用	49,292
(C) 純資産総額（A - B）	1,154,937,836
元本	1,121,586,484
次期繰越損益金	33,351,352
(D) 受益権総口数	1,121,586,484口
1万口当り基準価額（C / D）	10,297円

* 期首における元本額は1,333,303,222円、当期中における追加設定元本額は4,034,706円、同解約元本額は215,751,444円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,297円です。

■損益の状況

当期 自 2017年7月19日 至 2018年1月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	37,407,697円
受取配当金	37,400,158
受取利息	7
その他収益金	11,559
支払利息	△ 4,027
(B) 有価証券売買損益	△ 7,161,980
売買益	2,970,962
売買損	△ 10,132,942
(C) 信託報酬等	△ 7,129,038
(D) 当期繰越損益金（A + B + C）	23,116,679
(E) 前期繰越損益金	7,827,055
(F) 追加信託差損益金	3,529,204
（配当等相当額）	（ 5,009,915）
（売買損益相当額）	（△ 1,480,711）
(G) 合計（D + E + F）	34,472,938
(H) 収益分配金	△ 1,121,586
次期繰越損益金（G + H）	33,351,352
追加信託差損益金	3,529,204
（配当等相当額）	（ 5,009,915）
（売買損益相当額）	（△ 1,480,711）
分配準備積立金	299,476,175
繰越損益金	△ 269,654,027

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	30,278,659円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	5,009,915
(d) 分配準備積立金	270,319,102
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	305,607,676
(f) 分配金	1,121,586
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	304,486,090
(h) 受益権総口数	1,121,586,484口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、1月17日現在の基準価額（1万口当り10,297円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
18期末(2015年8月17日)	8,726	100	△ 2.9	10,492	△ 4.8	0.9	96.5	13,917
19期末(2015年9月17日)	8,068	100	△ 6.4	9,749	△ 7.1	1.1	96.1	12,146
20期末(2015年10月19日)	8,103	80	1.4	10,089	3.5	1.0	95.9	11,299
21期末(2015年11月17日)	8,061	80	0.5	10,030	△ 0.6	1.0	97.0	10,457
22期末(2015年12月17日)	7,828	80	△ 1.9	9,675	△ 3.5	1.3	96.4	9,717
23期末(2016年1月18日)	7,323	80	△ 5.4	9,052	△ 6.4	1.7	96.1	8,648
24期末(2016年2月17日)	7,266	80	0.3	9,158	1.2	1.6	96.9	8,316
25期末(2016年3月17日)	7,377	80	2.6	9,425	2.9	0.2	96.6	8,159
26期末(2016年4月18日)	7,317	80	0.3	9,591	1.8	—	97.3	7,821
27期末(2016年5月17日)	7,116	80	△ 1.7	9,494	△ 1.0	1.2	96.9	7,423
28期末(2016年6月17日)	6,761	80	△ 3.9	9,071	△ 4.4	2.0	96.7	6,665
29期末(2016年7月19日)	6,949	80	4.0	9,641	6.3	0.5	96.7	6,609
30期末(2016年8月17日)	6,763	80	△ 1.5	9,453	△ 1.9	1.0	96.2	6,215
31期末(2016年9月20日)	6,609	80	△ 1.1	9,353	△ 1.1	0.1	96.2	5,826
32期末(2016年10月17日)	6,674	80	2.2	9,589	2.5	0.2	95.9	5,566
33期末(2016年11月17日)	6,578	80	△ 0.2	9,357	△ 2.4	1.1	95.9	5,221
34期末(2016年12月19日)	6,805	80	4.7	10,103	8.0	0.3	95.6	5,127
35期末(2017年1月17日)	6,658	80	△ 1.0	9,993	△ 1.1	0.0	99.8	4,886
36期末(2017年2月17日)	6,703	80	1.9	10,316	3.2	0.0	99.6	4,827
37期末(2017年3月17日)	6,691	80	1.0	10,474	1.5	0.0	99.6	4,690
38期末(2017年4月17日)	6,477	80	△ 2.0	10,120	△ 3.4	0.0	99.5	4,320
39期末(2017年5月17日)	6,661	80	4.1	10,803	6.7	0.0	99.3	4,295
40期末(2017年6月19日)	6,498	80	△ 1.2	10,752	△ 0.5	0.0	98.0	3,989
41期末(2017年7月18日)	6,533	80	1.8	10,979	2.1	—	98.0	3,825
42期末(2017年8月17日)	6,422	80	△ 0.5	10,841	△ 1.3	—	98.7	3,659
43期末(2017年9月19日)	6,437	80	1.5	11,249	3.8	—	98.9	3,531
44期末(2017年10月17日)	6,304	80	△ 0.8	11,158	△ 0.8	—	98.9	3,314
45期末(2017年11月17日)	6,135	80	△ 1.4	10,933	△ 2.0	—	99.1	3,139
46期末(2017年12月18日)	6,141	80	1.4	11,103	1.6	—	98.8	3,033
47期末(2018年1月17日)	6,141	80	1.3	11,398	2.7	—	98.6	2,986

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

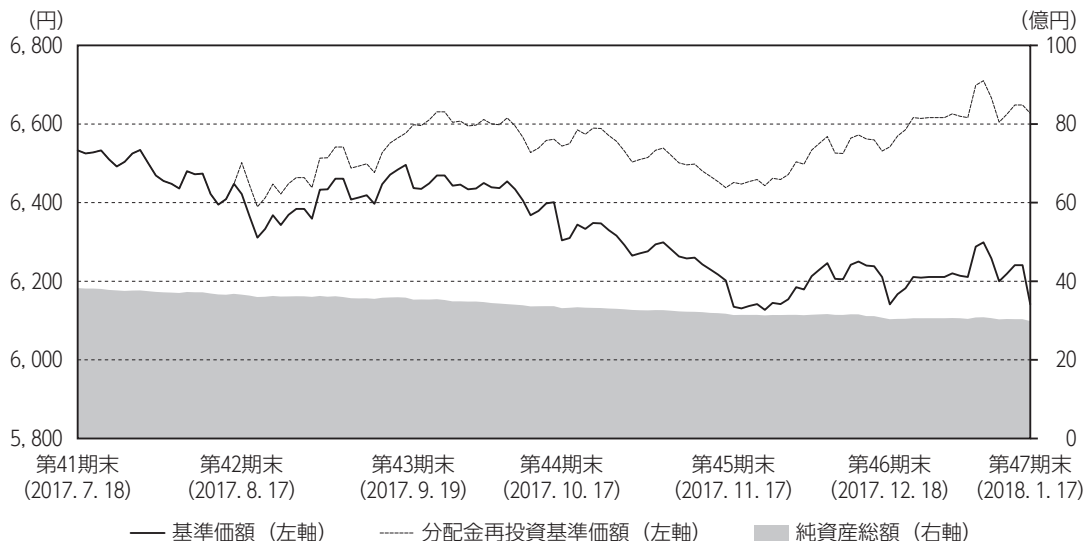
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第42期首：6,533円

第47期末：6,141円（既払分配金480円）

騰落率：1.4%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

通貨オプション取引によるプレミアム収入および債券の利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン GBI-EM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第42期	(期首)2017年7月18日	6,533	—	10,979	—	—	98.0
	7月末	6,501	△ 0.5	10,854	△ 1.1	0.0	98.5
	(期末)2017年8月17日	6,502	△ 0.5	10,841	△ 1.3	—	98.7
第43期	(期首)2017年8月17日	6,422	—	10,841	—	—	98.7
	8月末	6,433	0.2	11,031	1.8	—	98.1
	(期末)2017年9月19日	6,517	1.5	11,249	3.8	—	98.9
第44期	(期首)2017年9月19日	6,437	—	11,249	—	—	98.9
	9月末	6,436	△ 0.0	11,186	△ 0.6	—	98.4
	(期末)2017年10月17日	6,384	△ 0.8	11,158	△ 0.8	—	98.9
第45期	(期首)2017年10月17日	6,304	—	11,158	—	—	98.9
	10月末	6,271	△ 0.5	10,979	△ 1.6	—	98.8
	(期末)2017年11月17日	6,215	△ 1.4	10,933	△ 2.0	—	99.1
第46期	(期首)2017年11月17日	6,135	—	10,933	—	—	99.1
	11月末	6,185	0.8	11,040	1.0	—	99.1
	(期末)2017年12月18日	6,221	1.4	11,103	1.6	—	98.8
第47期	(期首)2017年12月18日	6,141	—	11,103	—	—	98.8
	12月末	6,214	1.2	11,329	2.0	—	98.8
	(期末)2018年1月17日	6,221	1.3	11,398	2.7	—	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2017. 7. 19 ~ 2018. 1. 17）

■新興国債券市況

新興国債券市場では、世界経済が安定した推移となる中、相対的に金利の高い新興国債券への需要は高まったものの、個別国要因により金利動向はまちまちとなりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、欧米との関係悪化や通貨安によるインフレが懸念され、金利は上昇しました。南アフリカでは、与党ANC（アフリカ民族会議）の党首選挙で改革派のラマポーザ氏が勝利するとの期待を背景に、金利は低下しました。ロシアでは、インフレ率の鈍化を背景に利下げが実施される中、金利は低下しました。

・アジア地域

インドネシア、タイ、マレーシアでは、新興国債券への需要を背景に金利は低下しました。

・中南米地域

ブラジルでは、政策金利の引き下げが行なわれる中、金利は低下しました。メキシコでは、NAFTA（北米自由貿易協定）の再交渉を巡る不透明感から、金利は上昇しました。ペルーでは、インフレ率が低下する中で金利は低下しました。

■為替相場

投資対象通貨の対円為替相場は、個別国要因によりまちまちな展開となりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラは、欧米との関係悪化が懸念され対円で下落しました。南アフリカ・ランドは、構造改革期待から対円で上昇しました。ロシア・ルーブルは、エネルギー価格の上昇などにより対円で上昇しました。

・アジア地域

マレーシア・リングgitやタイ・バーツはそれぞれ対円で上昇した一方、インドネシア・ルピアは円高の影響から下落しました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、政治を巡る混乱が下落要因となり対円で下落しました。メキシコ・ペソは、対米の通商交渉への懸念から対円で下落しました。ペルー・ソルについては、当作成期間を通して見るとほぼ横ばいでの推移となりました。

■為替ボラティリティ相場

新興国通貨の対円ボラティリティは、おおむね低下しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」といいます。）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

（2017.7.19～2018.1.17）

■当ファンド

当作成期間を通じて「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域ではトルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ロシア・ルーブル、アジア地域ではインドネシア・ルピア、マレーシア・リングギット、タイ・バーツ、中南米地域ではブラジル・リアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルへ投資しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1.0（年）程度～3.0（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）

- ・通貨カバードコール戦略（新興国通貨それぞれについて、円に対する当該新興国通貨のコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

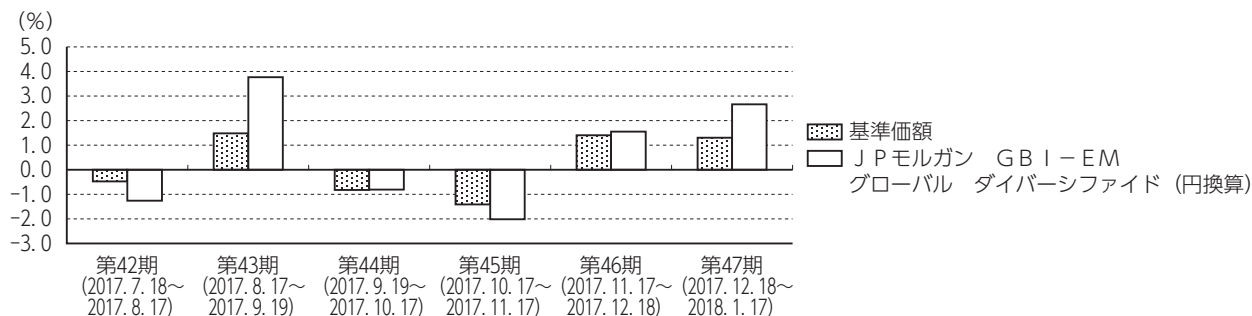
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第42期から第47期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ80円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2017年7月19日 ～2017年8月17日	2017年8月18日 ～2017年9月19日	2017年9月20日 ～2017年10月17日	2017年10月18日 ～2017年11月17日	2017年11月18日 ～2017年12月18日	2017年12月19日 ～2018年1月17日
当期分配金（税込み）（円）	80	80	80	80	80	80
対基準価額比率（％）	1.23	1.23	1.25	1.29	1.29	1.29
当期の収益（円）	67	75	57	62	65	61
当期の収益以外（円）	12	4	22	17	14	18
翌期繰越分配対象額（円）	173	169	146	129	115	96

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	67.01円	75.70円	57.47円	62.84円	65.42円	61.32円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	21.42	21.84	22.23	22.57	22.89	23.13
(d) 分配準備積立金	165.31	151.91	147.22	124.36	106.90	92.08
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	253.75	249.46	226.93	209.78	195.21	176.54
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	173.75	169.46	146.93	129.78	115.21	96.54

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「エマージング・ボンド・ファンド（通貨 α クラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■エマージング・ボンド・ファンド（通貨 α クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第42期～第47期 (2017. 7. 19～2018. 1. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	37円	0.581%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6,332円です。
(投 信 会 社)	(10)	(0.162)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(26)	(0.406)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	3	0.052	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託受益証券)	(3)	(0.052)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	40	0.637	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）

■売買および取引の状況 投資信託受益証券

（2017年7月19日から2018年1月17日まで）

決算期	第 42 期 ～ 第 47 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 （邦貨建）	4,026.365	249,851	14,371.916	892,112

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 投資信託受益証券

（2017年7月19日から2018年1月17日まで）

第 42 期 ～				第 47 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS（ケイマン諸島）	403.39	25,000	61	EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS（ケイマン諸島）	14,371.916	892,112	62

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第42期～第47期）中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

（2017年7月19日から2018年1月17日まで）

決算期	第 42 期 ～ 第 47 期						
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B		B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	
百万円		百万円	%			百万円	百万円
公社債	2,210	230	10.4	—	—	—	—
コール・ローン	8,187,115	—	—	—	—	—	—
現先取引 （その他有価証券）	121,999	—	—	122,999	—	—	—

（注）平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中における売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第42期～第47期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 47 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS	48,102.128	2,945,197	98.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年1月17日現在

項 目	第 47 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	2,945,197	96.8
ダイワ・マネー・マザーファンド	98	0.0
コール・ローン等、その他	97,658	3.2
投資信託財産総額	3,042,953	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第41期末	第 47 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	96	96	98

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年8月17日)、(2017年9月19日)、(2017年10月17日)、(2017年11月17日)、(2017年12月18日)、(2018年1月17日)現在

項 目	第42期末	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末
(A) 資産	3,734,381,585円	3,655,156,786円	3,373,352,912円	3,196,862,285円	3,150,615,371円	3,084,270,849円
コール・ローン等	113,099,452	85,882,378	88,048,208	72,837,551	65,684,438	56,341,292
投資信託受益証券 (評価額)	3,610,206,051	3,492,929,136	3,277,222,631	3,110,952,672	2,998,206,470	2,945,197,094
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	98,082	98,073	98,073	98,063	98,063	98,063
未収入金	10,978,000	76,247,199	7,984,000	12,973,999	86,626,400	82,634,400
(B) 負債	75,148,320	123,446,610	58,871,831	57,260,590	116,768,199	97,870,915
未払金	5,489,000	38,123,600	3,992,000	6,487,000	43,313,200	41,317,200
未払収益分配金	45,582,434	43,893,660	42,063,261	40,939,572	39,519,621	38,904,016
未払解約金	20,484,504	37,598,823	9,670,644	6,515,871	30,727,777	14,597,056
未払信託報酬	3,567,506	3,779,299	3,073,269	3,223,018	3,090,927	2,915,643
その他未払費用	24,876	51,228	72,657	95,129	116,674	137,000
(C) 純資産総額 (A - B)	3,659,233,265	3,531,710,176	3,314,481,081	3,139,601,695	3,033,847,172	2,986,399,934
元本	5,697,804,355	5,486,707,580	5,257,907,727	5,117,446,591	4,939,952,646	4,863,002,068
次期繰越損益金	△ 2,038,571,090	△ 1,954,997,404	△ 1,943,426,646	△ 1,977,844,896	△ 1,906,105,474	△ 1,876,602,134
(D) 受益権総口数	5,697,804,355□	5,486,707,580□	5,257,907,727□	5,117,446,591□	4,939,952,646□	4,863,002,068□
1万口当り基準価額 (C/D)	6,422円	6,437円	6,304円	6,135円	6,141円	6,141円

*第41期末における元本額は5,856,307,498円、当作成期間(第42期~第47期)中における追加設定元本額は87,917,708円、同解約元本額は1,081,223,138円です。

*第47期末の計算口数当りの純資産額は6,141円です。

*第47期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,876,602,134円です。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）

■損益の状況

	第42期 自 2017年 7月19日 至 2017年 8月17日	第43期 自 2017年 8月18日 至 2017年 9月19日	第44期 自 2017年 9月20日 至 2017年10月17日	第45期 自 2017年10月18日 至 2017年11月17日	第46期 自 2017年11月18日 至 2017年12月18日	第47期 自 2017年12月19日 至 2018年 1月17日
項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(A) 配当等収益	41,778,579円	44,580,131円	33,314,511円	35,407,522円	34,677,786円	32,082,388円
受取配当金	41,781,757	44,583,126	33,316,296	35,409,340	34,679,423	32,083,548
受取利息	12	32	16	8	9	3
支払利息	△ 3,190	△ 3,027	△ 1,801	△ 1,826	△ 1,646	△ 1,163
(B) 有価証券売買損益	△ 55,535,997	△ 11,171,396	△ 58,110,360	△ 77,557,528	△ 11,090,197	△ 9,567,611
売買益	1,214,555	12,011,798	821,808	895,686	11,533,299	9,895,687
売買損	△ 56,750,552	△ 840,402	△ 58,932,168	△ 78,453,214	△ 443,102	△ 328,076
(C) 信託報酬等	△ 3,592,382	△ 3,805,651	△ 3,094,698	△ 3,245,490	△ 3,112,472	△ 2,935,969
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 17,349,800	△ 51,945,876	△ 27,890,547	△ 45,395,496	△ 42,655,511	△ 38,714,030
(E) 前期繰越損益金	△ 1,859,226,856	△ 1,845,838,352	△ 1,756,444,505	△ 1,772,768,302	△ 1,789,488,543	△ 1,753,840,713
(F) 追加信託差損益金	△ 116,412,000	△ 117,211,268	△ 117,028,333	△ 118,741,526	△ 119,752,821	△ 122,571,435
(配当等相当額)	(12,205,420)	(11,984,543)	(11,692,787)	(11,554,945)	(11,308,151)	(11,252,415)
(売買損益相当額)	(△ 128,617,420)	(△ 129,195,811)	(△ 128,721,120)	(△ 130,296,471)	(△ 131,060,972)	(△ 133,823,850)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 1,992,988,656	△ 1,911,103,744	△ 1,901,363,385	△ 1,936,905,324	△ 1,866,585,853	△ 1,837,698,118
(H) 収益分配金	△ 45,582,434	△ 43,893,660	△ 42,063,261	△ 40,939,572	△ 39,519,621	△ 38,904,016
次期繰越損益金 (G + H)	△ 2,038,571,090	△ 1,954,997,404	△ 1,943,426,646	△ 1,977,844,896	△ 1,906,105,474	△ 1,876,602,134
追加信託差損益金	△ 116,412,000	△ 117,211,268	△ 117,028,333	△ 118,741,526	△ 119,752,821	△ 122,571,435
(配当等相当額)	(12,205,420)	(11,984,543)	(11,692,787)	(11,554,945)	(11,308,151)	(11,252,415)
(売買損益相当額)	(△ 128,617,420)	(△ 129,195,811)	(△ 128,721,120)	(△ 130,296,471)	(△ 131,060,972)	(△ 133,823,850)
分配準備積立金	86,797,995	80,995,087	65,566,744	54,863,914	45,609,361	35,696,057
繰越損益金	△ 2,008,957,085	△ 1,918,781,223	△ 1,891,965,057	△ 1,913,967,284	△ 1,831,962,014	△ 1,789,726,756

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	38,186,196円	41,537,130円	30,219,812円	32,162,032円	32,319,466円	29,820,810円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	12,205,420	11,984,543	11,692,787	11,554,945	11,308,151	11,252,415
(d) 分配準備積立金	94,194,233	83,351,617	77,410,193	63,641,454	52,809,516	44,779,263
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	144,585,849	136,873,290	119,322,792	107,358,431	96,437,133	85,852,488
(f) 分配金	45,582,434	43,893,660	42,063,261	40,939,572	39,519,621	38,904,016
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	99,003,415	92,979,630	77,259,531	66,418,859	56,917,512	46,948,472
(h) 受益権総口数	5,697,804,355口	5,486,707,580口	5,257,907,727口	5,117,446,591口	4,939,952,646口	4,863,002,068口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	80円	80円	80円	80円	80円	80円
(単 価)	(6, 422円)	(6, 437円)	(6, 304円)	(6, 135円)	(6, 141円)	(6, 141円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－
ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド
資産成長クラス／通貨αクラス

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド 資産成長クラス／通貨αクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2018年1月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

財政状態計算書
2017年5月31日

資産

金融資産（損益通算後の評価額）	\$	47,413,011
現金および現金同等物		1,703,623
未収：		
売却済み証券		862,073
利息		721,427
資産合計		<u>50,700,134</u>

負債

金融負債（損益通算後の評価額）		19,363
未払：		
受益証券の買戻し		592,305
購入済み証券		439,216
保管会社報酬		36,358
専門家報酬		18,849
報酬支払代行会社報酬		15,426
副運用会社報酬		12,822
管理会社報酬		11,324
名義書換代理人報酬		2,285
その他負債		3,280
負債（償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）		<u>1,151,228</u>
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産	\$	<u>49,548,906</u>

包括利益計算書

2017年5月31日に終了した年度

収益

受取利息	\$	3,718,138
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による純実現損失		(12,285,545)
外国為替取引による純実現損失		(221,586)
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による評価益の純変動		14,482,449
外国為替換算による評価益の純変動		43,357
収益合計		<u>5,736,813</u>

費用

副運用会社報酬		189,511
保管会社報酬		165,757
報酬支払代行会社報酬		114,732
管理会社報酬		44,109
受託会社報酬		23,281
専門家報酬		18,849
名義書換代理人報酬		11,310
登録料		623
費用合計		<u>568,172</u>

金融費用控除前営業利益

5,168,641

金融費用

償却可能受益証券の保有者への分配金		<u>(8,462,756)</u>
-------------------	--	--------------------

分配後および税引前損失

(3,294,115)

源泉徴収税		<u>(376,924)</u>
-------	--	------------------

運用の結果生じた償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少額	\$	<u><u>(3,671,039)</u></u>
----------------------------------	----	---------------------------

投資明細
2017年5月31日

債券

ブラジル

NOTA DO TESO 10% 01/01/18/BRL/	\$	483,080.67
NOTA DO TESO 10% 01/01/21/BRL/		4,147,776.92
NOTA DO TESO 10% 01/01/27/BRL/		772,159.86
ブラジル計		5,403,017.45

インドネシア

INDONESIA 8.375% 09/15/26/IDR/		492,117.12
INDONESIA 7.875% 04/15/19/IDR/		4,771,346.85
インドネシア計		5,263,463.97

マレーシア

MALAYSIAN 4.24% 2/7/18 SERIES		70,591.89
MALAYSIA 4.012% 09/15/17/MYR/		2,179,076.92
MALAYSIA 4.378% 11/29/19/MYR/		3,178,451.40
マレーシア計		5,428,120.21

メキシコ

PETROLEOS 7.65% 11/24/21/MXN/		2,737,110.24
MEX BONOS DES 5% 06/15/17/MXN/		2,455,885.09
メキシコ計		5,192,995.33

ペルー

PERU BONO SOB 8.6% 8/12/17		1,852,144.07
BONOS DE T 7.84% 08/12/20/PEN/		3,456,374.95
ペルー計		5,308,519.02

ロシア

RUSSIA GOV 8.15% 02/03/27/RUB/		644,906.41
RUSSIA GOVT 6.4% 05/27/20/RUB/		1,014,225.94
RUSSIA GOVT 6.7% 05/15/19/RUB/		3,523,417.75
ロシア計		5,182,550.10

南アフリカ

REPUBLIC O 7.25% 01/15/20/ZAR/		3,693,696.08
南アフリカ計		3,693,696.08

国際機関

EUROPEAN I 5.75% 12/21/17/ZAR/	224,834.20
EUROPEAN I 6.75% 09/15/17/ZAR/	1,358,860.93
EUROPEAN I 5.75% 04/03/18/TRY/	2,186,184.08
国際機関計	3,769,879.21

スウェーデン

SWEDISH EXP 5.5% 03/27/18/TRY/	1,340,697.02
スウェーデン計	1,340,697.02

タイ

THAILAND G 3.65% 12/17/21/THB/	628,570.17
THAILAND 3.875% 06/13/19/THB/	4,700,235.47
タイ計	5,328,805.64

トルコ

TURKEY GOVERN 8% 03/12/25/TRY/	1,145,284.89
TURKEY GOVE 9.4% 07/08/20/TRY/	769,574.44
トルコ計	1,914,859.33

債券計

47,826,603.36

ダイワ・マネー・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2018年1月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を29ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄 公 社 債

(2017年7月19日から2018年1月17日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
679 国庫短期証券 2017/7/31	1,700,018		
707 国庫短期証券 2017/12/11	230,001		
355 2年国債 0.1% 2017/8/15	170,008		
682 国庫短期証券 2017/8/14	60,000		
680 国庫短期証券 2017/8/7	50,001		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2018年1月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（74,348,808千円）の内容です。

国内その他有価証券

	2018年1月17日現在	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	999,998	<1.3>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第13期 (決算日 2017年12月11日)

(計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの第13期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位 (A-2格相当) 以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和投資信託

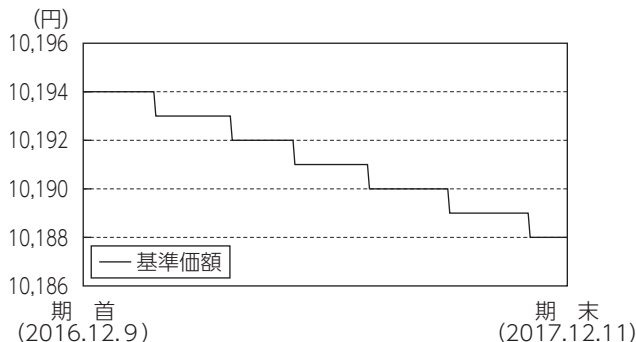
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ・マネー・マザーファンド

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率	
	円	騰 落 率 %	組 入 率 %	
(期首)2016年12月9日	10,194	-		30.1
12月末	10,194	0.0		-
2017年1月末	10,194	0.0		30.7
2月末	10,193	△0.0		24.6
3月末	10,193	△0.0		-
4月末	10,192	△0.0		32.5
5月末	10,191	△0.0		5.2
6月末	10,191	△0.0		0.5
7月末	10,190	△0.0		0.1
8月末	10,190	△0.0		-
9月末	10,189	△0.0		-
10月末	10,189	△0.0		-
11月末	10,188	△0.1		-
(期末)2017年12月11日	10,188	△0.1		-

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,194円 期末：10,188円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	買 付 額 千円	売 付 額 千円

- (注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	買 付 額 千円	売 付 額 千円

- (注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

買 付		売 付	
銘	柄 金 額 千円	銘	柄 金 額 千円
645 国庫短期証券	2017/2/20 27,570,641		
657 国庫短期証券	2017/4/17 17,880,344		
642 国庫短期証券	2017/2/6 17,230,250		
652 国庫短期証券	2017/3/27 16,550,132		
659 国庫短期証券	2017/4/24 16,270,410		
669 国庫短期証券	2017/6/12 15,870,490		
651 国庫短期証券	2017/3/21 13,160,344		
644 国庫短期証券	2017/5/12 11,970,533		
638 国庫短期証券	2017/1/16 9,360,075		
648 国庫短期証券	2017/3/6 7,370,272		

- (注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
国内その他有価証券

	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,999	<1.4>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	69,737,046	100.0
投資信託財産総額	69,737,046	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	69,737,046,159円
コール・ローン等	68,737,047,077
現先取引(その他有価証券)	999,999,082
(B) 負債	60,400,000
未払解約金	60,400,000
(C) 純資産総額(A-B)	69,676,646,159
元本	68,390,547,168
次期繰越損益金	1,286,098,991
(D) 受益権総口数	68,390,547,168口
1万口当り基準価額(C/D)	10,188円

* 期首における元本額は66,967,614,984円、当期中における追加設定元本額は143,241,011,614円、同解約元本額は141,818,079,430円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A I 新時代 - (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A I 新時代 - (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワ F E グローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 98,069円、ダイワ F E グローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 98,069円、ダイワ/ "R I C I" コモディティ・ファンド8,952,508円、US 債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、US 債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、DCダイワ・マネー・ポートフォリオ 2,898,147,134円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト 317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド - パラダイムシフター - 9,853,995円、プルベア・マネー・ポートフォリオ IV 25,987,316,146円、ブル3倍日本株ポートフォリオ IV 31,864,786,854円、ベア2倍日本株ポートフォリオ IV 7,199,848,570円、ダイワ F E グローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用) 4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配

型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド 164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ 68,368,780円、ダイワ新興国ハイインカム・プラスⅡ - 金積立型 - 501,660円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド (償還条項付き) 為替ヘッジあり 1,004,378円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド - インフラ革命 - (為替ヘッジあり) 988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド - インフラ革命 - (為替ヘッジなし) 4,926,018円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース 285,029円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース 144,570円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース 13,437,960円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ 1,229,944円、ダイワ・世界コモディティ・ファンド (ダイワSMA専用) 235,407円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース 98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース 98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース 98,202円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,188円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 41,076,414円
受取利息	△ 5,752,611
支払利息	△ 35,323,803
(B) 有価証券売買損益	△ 9,224
売買損	△ 9,224
(C) その他費用	△ 196,417
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 41,282,055
(E) 前期繰越損益金	1,302,196,055
(F) 解約差損益金	△ 2,715,466,915
(G) 追加信託差損益金	2,740,651,906
(H) 合計(D+E+F+G)	1,286,098,991
次期繰越損益金(H)	1,286,098,991

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。